

海運（船舶）利用の概況

定期航路利用の概要

区 分	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	
離島航路	旅客数	3,743	3,880	3,841	3,987	3,897
	車両数	361	371	455	385	387
本土間航路	旅客数	2,562	3,056	2,816	2,064	1,948
	車両数	603	627	595	618	649
計	旅客数	6,305	6,936	6,657	6,051	5,845
	車両数	964	998	1,050	1,003	1,036

注) 平戸、福島、天草の航路を離島航路に含む。

区 分	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度
対馬～釜山航路利用者数	384,364	459,491	580,446	738,217	849,975

本県における国内定期航路数は令和元年10月末現在41航路あり、このうち離島定期航路数は31航路である。

定期航路の平成30年度利用状況は、旅客数が5,845千人で対前年度比3.4%減少しており、このうち離島航路は3,897千人で対前年度比2.3%減少した。車両航送台数は1,036千台で対前年度比3.3%増加しており、このうち離島航路は387千台で対前年度比0.5%の増加となった。

本県では、離島地域住民の経済的負担の軽減と交流人口の拡大を目的として「離島地域交流促進基盤強化事業」により、新船建造（船舶リプレイス）の支援を実施した。

新船建造の実施結果

長崎～五島航路	「万葉」	(23年 4月就航)
長崎～五島航路	「椿」	(24年12月就航)
博多～壱岐～対馬航路	「フェリーきずな」	(24年 4月就航)
長崎～五島貨物航路	「フェリーさくら」	(26年 3月就航)
福江～青方～博多航路	「太古」	(26年 7月就航)
印通寺～唐津航路	「ダイヤモンドいき」	(31年 4月就航)

大規模改修の実施結果

長崎～鯛ノ浦航路	「びっぐあーす2号」	(26年 3月就航)
----------	------------	------------

また、国際定期航路が、対馬市の厳原～釜山、比田勝～釜山において運航されている。厳原～釜山においては大亜高速海運の「オーシャンフラワー」、未来高速の「コビー」、スターラインの「ニナ」が運航されており、また比田勝～釜山においては大亜高速海運の「オーシャンフラワー」、JR九州の「ビートル」、未来高速の「コビー」、スターラインの「ニナ」、韓日高速海運の「オーロラ」が運航されている。平成30年度の利用者数は849,975人で対前年度比15.1%増加しており対馬の地域振興と、韓国との交流人口の拡大に寄与している。

なお、令和元年7月上旬より、日韓関係の悪化に伴う利用客の減少を受け、厳原～釜山を定期航路として運航している3社において、12月末まで運休。また、比田勝～釜山を運航する5社については、12月末まで、2社が運休、2社が減便されている。JR九州は通常通り運航。(令和元年11月末時点)